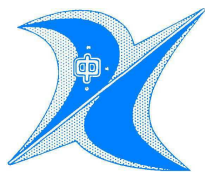


教育目標『夢と潤いのある学校』



夢と潤い

令和4年度
学校だより 第1号

旭川市立広陵中学校
令和4年5月31日

発行責任者 校長 千葉 雅樹

こんなときだからこそ大切にしたいもの・・・

校長 千葉 雅樹

今世界は、新型コロナや戦争、自然災害など様々な問題に直面し、小さな子どもからお年寄り、体に障がいを持っている方々、もしかしたら、動植物に至るまですべての生き物にとって生きづらい状況になっているかもしれません。

そのような中、子どもたちは、懸命に生きています。私は思っています。当然、それに関わる先生方、支えてくださる保護者、地域の皆様も懸命に生きています。

子どもたちには、このような時代の中でも、希望を見つけ、たくましく、自分の人生を切り拓く力を身に付けてもらいたい。そのためには「知恵と勇気と優しさ」が必要。私はそう考えています。

そして、こんなときだからこそ大切にしたいこと……それは、他者との関わりです。
あるドイツ人の哲学者が以下のようなことをお話ししていました。

人は、一人きりの状態が長く続くと心が壊れてしまいます。一人きりが好きな人もそうでない人も他者に自分の存在を認めてもらっているから人として生きていけるのです…



このお話を聞いたとき、衝撃を受けました。

なぜなら、人は孤独を好む人もいるので、一人きりでも生きていけるのではないかと考えていたからです。でも、確かに孤独を好む人でも、「あの人は孤独を好む人なんだ」と他者から認められているから生きていられるのではないかと考えるようになりました。

この学者さんは、人間、ひとりの時間も必要で、それも他者による認定が基盤にあるとも言っていました。私はどんな時代でも、人が人としてたくましく生きていくためには、他者との関わりを大切にする必要があるということに改めて深く感じました。

今回、私たちは、遠足や修学旅行を通して、色々な苦労をしながらも仲間との関わりを大切にしながら活動してきた子どもたちの姿を見てきました。



これからも他者との関わりを大切にしながら、全職員一丸となって、子どもたちのための教育活動を進めて参ります。どうかご支援とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、このたびは学年閉鎖に関わり、保護者・地域の皆様にご苦労、ご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

地域清掃活動

5月11日(水)に1、2年生が、自分たちが暮らしている地域をきれいにするために、22の町内会に分かれて清掃活動を行いました。当日は、各町内会の方々にもお手伝いいただき、ありがとうございました。



～町内会長さんの方々からのメッセージを紹介します～

- 真面目にきちんと行動していた。持ち物も適切で大変助かりました。
- 暑さが厳しい中、公園や道路などを清掃していただきました。全員が小さなゴミにも目配りをして真剣に取り組んでいました。大変ありがとうございました。
- 全体的によく清掃してくれました。元気がよいのが良かったです。
- これからも教職員・生徒と一丸となって二度と来ない今日という日を大切に学校生活を送っていただきたいです。この度は、誠にありがとうございました。
- 生徒の皆さん、ありがとうございました。大変良い活動だと思います。生徒さんも頑張ってゴミを拾ってくれました。
- 反応が明るく、ゴミ拾いに前向きに取り組んでいてとてもよいと思いました。
- 生徒が元気よく挨拶してくださった。1つのゴミも見逃さないように注意をはらっている姿には感心しました。地域の人たちとの繋がりの大切さを学んで頂ければ、幸いです。
- 参加した生徒さんは、積極的に行動していた。公園内外ともに美しく、気持ちよく利用できる状態となり、感謝申し上げます。
- 生徒の皆さんにお礼申し上げます。皆さん黙々と活動に取り組んでいました。ビニル袋をたんぼぼでいっぱいになるまで頑張ってくれていました。生徒の素直な感想も良かったです。
- 日頃接点のない中学生と一緒に、生徒とも和気あいあいと作業ができた。
- 暑い中と不慣れな作業で大変だったと思うが、生徒たちは元気いっぱいに活動していた。
- きれいにした公園を見に来てほしい。いつまでも記憶として残してほしい。

長年にわたり、続けてきた清掃活動です。2年前には旭川市から地域に貢献した活動として表彰を受けました。地域と学校が協働して取り組む活動として、今後も大切にしていきたいと思っております。

【遠足(1年生)】



校区内の公園を巡り、フォトコンテストを行いました。

iPadを片手に地域の良さを再確認一日を過ごすことができました。

【炊事遠足(2年生)】



春光台公園までの約10kmの道のりを歩き、カレーライスを作りました。

ご飯は、アルミ缶を使って炊きました。



優しいうれしいお話

5月30日(月)午後8時頃、地域の方からうれしいお電話をいただきました。ご連絡いただき、感謝申し上げます。以下がその中身です。

朝8時前後、末広5条7丁目付近で自分の家が分からず困っているおばあちゃんを通りがかった広陵中の子どもたち5、6人が手助けをしていた。その場面を見ていた主人が、警察に連絡し、無事におばあちゃんはおうちに帰ることができました。

素晴らしい中学生ですね…

という内容のお知らせでした。人と人のつながりが希薄になりつつある現代社会においても、手を差し伸べる勇気と優しさが育っている子どもたちをとて誇らしく思います。